審判委員と競技(コート)委員の役割・連携について

	聖	±−4	審判員	口 米 二 二
-		準備•待機	・スコアーシートの準備。 ・ネットの高さや張り具合、アンテナの位置 などチェックする。	コートチェックと用具の確認をする ・試合球・ボール拭き・ボールスタンド ・フラッグ・カード・ブザー ・得点板・チーム名盤 ・ネット・白帯・アンテナ・ラインテープ
2	第1試合プロトコール 開始5分前	競技エリアの外で待機する。審判員ととも に コートに入り、練習を開始する。 ネットは使用しない。	試合のチームを競技エリア外で待機させる。競技(コート)委員の合図で、試合チームとともにコートに入る。 試合前のチェックを行う。ラインジャッジの確認。	審判員に、コート入場OKの合図を送る。チームの持ち込み備品等の確認。プロトコールまでにラインジャッジが来ない場合は、放送での呼び出しを依頼する。
3	プロトコール	トスをし、監督とキャプテンはサインをする。 ユニフォームで公式練習に入る。 ラインナップシートを提出する。	フロトコールを進める。ゲームに必要な道具 のチェック。ラインジャッジと打ち合せを行 う。	ュニフォームやチームの持ち込み備品確認
4	試合中		ゲームコントロール	コートサイドで待機する。 コート、用具の不具合を発見した場合や審 判員の呼び出しに対応する。
വ	第1試合終了	〇試合終了のチーム 監督と審判は握手する。 キャプテンのサイン後は、速やかにベ ンチから退出する。※ラインジャッジや 得点などの割り当て準備をする。	〇試合終了した審判員 監督と握手する。ラインジャッジに御礼を伝える記録用紙の記入を完了させる。(キャプテンからサインをもらう) ※状況によっては記録席から他の場所に移動して記入する。	キャプテンのサイン後は、チームは速やか に競技エリア外に出るよう促す。 コート、用具の確認、及びチーム名盤の入
		〇次試合のチーム 競技エリアの外で待機。	〇次試合の審判員 次試合のチームを競技エリアの外で待機さ せる	れ音えをする。 フラッグを回収し、消毒をする。
9	第2試合プロトコール 開始5分前	審判員とともにコートに入り、練習を開始する。	競技(コート)委員の合図を受けて、 試合チームとともにコートに入り、試合開始 の準備をする。	審判員に、コート入場OKの合図を送る。 担当審判員と当該チームにプロトコール開始時刻を連絡する。

以降 3~6のくり返しで進める。

6の時間について

※連続試合となる場合には、試合間を15分空けることができる。

※プロトコールの設定時刻は5分単位で行う。例:前の試合が10:12終了の場合、10:20もしくは10:25からプロトコールに入る。